

三重大学 生物資源学部
紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター案内

生物資源学部には、教育・研究を行うフィールドとして、以下の4つの附帯施設があります。

所在地

農 場：三重県津市高野尾町 2072-2
演習林：三重県津市美杉町川上 2735
水産実験所：三重県鳥羽市小浜 641-9
練習船基地（練習船勢水丸）：
三重県松阪市大口町 1819-18



農場

農場は、生物資源学部上浜キャンパスの西北約 9.5km に位置し、35ha の面積を占めています。

自然・生物エネルギーを利用した持続的な農業生産に関する多様な実習教育を行うと共に、教員・学生の研究の場として活用されています。作物、施設園芸、果樹、畜産、農産加工、農業機械などの様々な内容の実習を行います。

交通

- ・ 県道津一関線沿いの津市高野尾町にあります。
- ・ 津駅（JR 東海・近鉄）や大学前からバスの便があります。バスの所要時間は、津駅から約 30 分、大学前から約 20 分です。
- ・ 伊勢自動車道芸濃インターからは約 500m の所にあります。



演習林

演習林（平倉演習林）は、三重県中部を貫流して伊勢湾に注ぐ雲出川の最上流水源地帯を構成する森です。規模は東西約 4km、南北約 1.5km の長方形で面積約 460ha、津市街地から西南西へ約 60km 離れています。紀伊半島の代表的な自然植生を示し、学術的にも貴重な森林・国土保全フィールドです。森林・緑地のもつ多面的な機能や森林資源の有効利用などに関する研究を実施するとともに、森林資源の育成・利用・保全に関する実験や実習を行っています。

遠隔地にあり、演習林内では携帯電話は圏外となります。



交通

- ・ 松阪駅 — (JR名松線 1 時間 24 分) — 伊勢奥津駅 — (津市コミュニティバス 11 分) — 川上バス停 — (徒歩 5 km 約 1 時間 15 分) — 演習林宿舍

水産実験所

水産実験所は、津市より南東約 40km、豊かな海洋生態系を誇り、多種多様な魚介類が漁獲される伊勢湾口部にある鳥羽市小浜町に位置しています。水産実験所には、各種実験室、飼育室、計測室、海水ろ過装置とポンプ室、学生宿泊施設等充実した施設が配置され、魚介類の飼育実験、海洋生物の分析や計測、環境分析等が行えます。

水産実験所では、学生を対象とした臨海実習や藻類学実習等の教育実習を行っているほか、伊勢志摩地域で盛んな海女漁業支援のためのアワビ類やナマコの増殖、イセエビ等の資源管理に関する研究や、近年注目されているスマート水産業に関する研究等学生や教員の研究の場にもなっています。



交通

- ・ 名古屋からは近鉄特急で「鳥羽駅」まで約 1 時間 40 分、大阪方面からは上本町から同約 2 時間、京都からは同約 2 時間 30 分。
- ・ 鳥羽駅から鳥羽市のバス（かもめバス）で「小浜漁協前」まで約 10 分。バス停から徒歩すぐ。

練習船「勢水丸」

勢水丸は中部地方で唯一の国立大学法人が所有する水産・海洋系の練習船です。学生居住区をすべて水線上の区画である上甲板に配置しており、騒音や振動が少ない電気推進システムを採用して乗船学生は船内生活や調査研究活動が快適になるよう工夫されています。

航海は実習（教育）航海、研究航海、地域・社会貢献航海に分かれており、運航海域は伊勢湾や熊野灘、遠州灘をはじめとして本邦南方黒潮流域から東シナ海まで幅広く活動しています。近年では文部科学省教育関係共同利用拠点事業施設の認定を受け、学外からも広く利用されています。



松阪港には練習船基地があり、乗船は主に松阪港からとなります。また、海上に出ている間は、沿岸域を除いて携帯電話は不通となります。

交通

- ・ 近鉄松阪駅下車—徒歩では約 60 分、車では約 15 分です。
- ・ 松阪市コミュニティバス（大口線）を利用の場合は、JR 松阪駅（近鉄松阪駅）— (松阪市コミュニティバス 20 分) — 松阪港バス停— (徒歩 5 分) — 練習船基地